

首里城公園における時間制入場管理システム導入業務 仕様書（案）

1. 業務目的

首里杜地区は、琉球王国時代に首里城を中心に形成された歴史あるまちである。首里城は沖縄県内でも指折りの観光地であり、多くの観光客が首里城を目的に当地を訪れている。一方で、観光客の増加が地域の暮らしを圧迫するオーバーツーリズムにつながるとの懸念が生じている。また令和8年度の首里城正殿復元後の安全管理も配慮して適切な入場管理が必要となる。

本業務では、現在首里城公園で未対応の時間制を導入することで、オーバーツーリズムの未然防止及び安全管理を目的とした業務である。

2. 履行期限 契約締結日の翌日から令和8年2月13日までとする。

履行場所 那覇市首里

3. 業務内容

（1）首里城公園における時間制チケット販売システムの導入

4. 業務仕様

（1）首里城公園における時間制チケット販売システムの導入

（ア）システム概要

首里城公園における時間制入場に対応した入場券、割引券、無料券等各種チケットの販売、発券、売上訂正、集計及びその設定が施設担当者側できるシステムの導入を行う。

（イ）システムの構成

運営システムは次のシステムで構成する

- ①窓口発券精算 POS システム
- ②自動券売機システム
- ③ハンディゲート着券管理システム（兼 リアルタイム入場者数確認システム）
- ④団体予約システム
- ⑤年間パスポートシステム
- ⑥売上管理システム
- ⑦オンラインチケット販売システム

5. システム仕様

首里城公園における時間制チケット販売システムの導入にあたり、各システムの要件を以下に示す。

（1）システム全体に係る仕様について

- ・下記（2）～（8）のシステムがインターネット等で連動しており、時間ごとの発券状況、発券管理が一括で運用可能であること。
- ・R8年秋完成予定の首里城正殿の入場において、時間別の入場予約を想定しており、15分単位での予約が可能であること。
- ・時間別入場の残席数管理を行い、入場券を制限数まで簡単・確実に販売できる拡張機能を要していること。また、時間指定のない入場券が発券できる機能を合わせて要していること。
- ・各システムで発券した入場券は有料エリアへの入場（奉神門）と首里城正殿への入場の2

箇所で入場チェックをすることを想定しており、1枚で2箇所以上の場所で改札システムを使用して着券処理が行えること。

- ・着券処理はチケットに印字された二次元コードを「(4) ハンディゲート着券管理システム(兼リアルタイム入場者数確認システム)」で読み取ることで実施が可能なこと。

- ・各システムで発券した入場券に印字されている二次元コードはユニークな情報となっていること。

- ・着券処理をしたデータは着券した場所別および時間別に集計できること。着券した入場者数データは、統合集計でき、日次、月次、年次及び、任意の指定期間で帳票に印刷及びCSVデータ形式等でファイル出力できること。この時、期限なく過去に遡って出力が可能なこと。

- ・リアルタイムでの入場者数が分かるシステム構造であること。また入場者数のデータについては、過去に期限なく遡り、データ確認およびデータ出力が施設担当者側で可能であること。

- ・料金変動(券種価格および消費税)に合わせて事前に施設担当者側でマスタ登録可能であり、対象日にはネットワークを通して各構成システム機器にマスタ適応される仕組みであること。

- ・券種および入場料金区分は別紙1の通りとし、変更や追加に対応できること。また、大幅な料金体系の変更も施設担当者側で対応できること。

- ・世情や運用の変化に合わせてカスタマイズ可能又は適宜バージョンアップが実施できること。

(2) 窓口発券精算 POS システム

- ・指定する券種(別紙1)を発券し、支払いにおいては、現金及び売掛や金券、割引クーポン券、キャッシュレス決済(別紙2)に対応をする機能を有すること。

- ・券種設定やボタン設定などの各種システム設定、マスタ設定は施設内のシステム管理者が、マウスとキーボードで行えること。

- ・キャッシュレス決済は決済時に窓口発券精算POSシステムとキャッシュレス決済端末が連動して支払いができること。

- ・発券・販売精算オペレーションが、タッチパネル操作、キーボード操作、バーコードリーダー操作で行えること。

- ・券種が2,000件以上登録できるマスタ構造であること。

- ・利用提携先登録が9,000件以上登録できるマスタ構造であること。この時それぞれの提携先に応じた手数料の設定が出来ること。

- ・販売操作画面を直感的に操作可能とする為、背景色、券種ボタン色・文字フォントなどが自由に設定できる券種ボタン選択式の販売画面構造であること。

- ・販売操作の際、利用提携先選択にかかる検索方法が利用提携先名から選択できること。

- ・練習モードを選択することで操作のトレーニングが随時行えること。

- ・カレンダーに連動して、券種価格が予め設定した価格帯に自動的に変更されて販売できること。なお、価格帯については110以上(別紙1)券種の数量×2を設定できること。

- ・精算対応の際に現金、売掛、金券、割引クーポン券、クレジットカード、流通系電子マネー、交通系電子マネー、コード決済での精算区分が選択でき、合算精算にも対応できること。

- ・領収証の発行機能を有すること。また領収証のレイアウトについては、施設担当者にてレ

イアウト変更が可能であること。

- ・券種マスタは、施設側管理者で登録・修正・削除が行えること。マスタ作成を簡単にする為、既に登録されている券種、提携先からのコピー登録機能を有すること。

- ・大量発券時の操作ミス防止の為、設定枚数以上だとアラートで注意を促す等の機能を有すること。

- ・利用予定日チケットを事前に発券できること。

- ・伝票レシートに記載したバーコード等を読み込ませることで、該当伝票の呼出しが行え、伝票修正や返品、取消しができること。

- ・レジ締め時に金種別に残高確認が行えること。

- ・オペレータ毎の ID とパスワードが、100 名以上登録できること。

- ・オペレータ毎の操作履歴が全てシステムに記録され、必要に応じて確認できること。

- ・オペレータ毎に機能別の操作権限を設定することができること。

- ・セットされているチケット数の残数表示があること。

- ・チケットへの印刷内容を施設側で自由に設定可能であること。

【必須印字項目】

- ・券種名・金額(税込)・伝票番号・レジ番号

- ・固定文・支払い方法・

- ・施設コメント機能（20 文字以上）、カレンダー連動文字

- ・チケットの印刷は、明朝体、ゴシック体の他、Windows フォント全般に対応すること。

- ・チケットは二次元コードの印刷ができ、ハンディゲート着券管理システムと連動した管理ができること。

- ・「0 円券種」の登録、販売が可能であること。

- ・「チケット出力無し券種」の登録、販売が可能であること。（送客手数料の登録）

- ・日次、月次、年次、任意の指定期間のそれぞれで各階毎の内訳を営業報、券種別報、提携先別報の帳票で出力できること。（期限なく過去に遡って出力が可能なこと。）

- ・売上帳票の情報は、罫線等で体裁を整えたフォーマットの帳票でプリントアウト可能であること。

- ・売上帳票の情報は、CSV データ等で出力可能であること。（期限なく過去に遡って出力が可能なこと。）

- ・売上帳票の様式は甲乙の協議により決定する。

(3) 自動券売機システム

以下の要件を満たすこと。

- ・金銭管理、集計、ロール紙交換、その他の管理が可能なこと。

- ・改札処理用二次元コード、券名称、金額（税込み）、設定文字、有効日時、発券 No. 号機 No. 等を券面に印字表示できること。

- ・自動券売機の売上データを事務所集計帳票システムにデータ取込みできること。

- ・窓口発券精算 POS システムと自動券売機の売上データは統合集計でき、日次、月次、年次及び指定期間で帳票に印刷及び CSV データ形式でファイル出力できること。

- ・4ヶ国語対応（日本語、英語、中国語、韓国語）のガイダンス機能を実装していること。また対応言語の追加が可能であること。選択した言語にて画面の文言と音声ガイドがそれぞれ出力されること。

- ・ユニバーサルデザインを考慮し、硬貨および紙幣の投入口が操作し易い位置に配置してい

ること。ディスプレイは、認識しやすいように角度を調整できること。

- ・券種ボタンを自由にレイアウトできること。

- ・券種ボタン表示のパターンを 12 種類あらかじめ登録することができ、設定した時間毎に自動的に変更、もしくは手動で変更することができること。

- ・障害発生時、障害の箇所を図等で表示し、障害内容を、対処方法を表示できること。

(4) ハンディゲート着券管理システム（兼 リアルタイム入場者数確認システム）

以下の要件を満たすこと。

- ・各システムから発券されたチケット、または任意の二次元コード・バーコードを読み込むことで、改札対応できること。

- ・二次元コードが読取り不能になった場合に備えて、チケットに記入されたユニークなコード等を手入力することでも改札対応ができること。

- ・チケットの二次元コードを読取ることで、利用可能日を判断し、入場不可のアラート機能を有すること。

- ・各改札処理用の機器は、チケットの二次元コードを読取ることで、入退場管理データベースにアクセスしてチケットの有効無効のチェックを行ない、有効であれば改札処理され入場済チケットに更新される。

- ・年間パスポートは、有効、無効を判定し利用履歴を記録すること。

- ・入場券、年間パスポートのいずれの入退管理においても、1 日 1 回のみ入場可、1 日複数回入場可の設定切り替えが可能であること。

- ・不正通過を検知した場合は、アラート等を発して係員に知らせる手段を設けること。

- ・リアルタイムでの入場者数が分かるシステム構造であること。またこのデータについては、過去に期限なく遡り、データ確認およびデータ出力が施設担当者側で可能であること。

(5) 団体予約システム

団体予約については、受付を FAX で行い、オペレータが団体予約システムに予約内容の入力し予約を確定させる想定である。

- ・利用団体ごとの利用予約内容を登録入力できること。

- ・予約登録後に予約内容の変更があった場合、予約内容の変更ができ、更新の履歴と更新の際の申し合わせ事項を記録できること。

- ・天候に依存しての利用する、しない等の来場条件の詳細を登録できること。

- ・予約登録した内容を予約票としてプリントアウトできること。

- ・予約登録を仮予約、本予約、キャンセル待ちのステータス管理ができること。

- ・削除済みデータの閲覧が可能であること。

- ・登録済みデータをピックアップして、利用内容の詳細が明記された日毎の来場団体一覧表が出力できること。

- ・入場券発行は、団体人数分の発行と団体単位での発行を選択できること。

- ・利用団体が来場する以前にチケットの事前発行ができること。

- ・利用精算は、利用当日の減員、増員に対応できること。

- ・予約ステータスごとでの情報絞込が可能であること。

- ・予約登録順序ごとでのソートが可能であること。

(6) 年間パスポートシステム

- ・年間パスポートのカード発行・顧客情報管理ができること。

- ・カードには管理ナンバー、氏名、有効期限、区分、二次元コードが印刷できること。

- ・カードには本人確認のために顔写真を印刷することができること。
- ・会員種別ごとに会員カードの図柄やデザイン、及び印字レイアウトが変更設定できること。
- ・年間パスポートシステムより発行したカードは、ハンディーゲート着券管理システムと連携して直接ハンディーゲート入場が可能であること。
- ・会員情報検索を行い、抽出した会員宛ての DM ラベルを出力できること。
- ・セキュリティを考慮してログインのために ID を 4 桁以上、パスワードを 30 桁以上設定できること。また、ID ごとに操作権限を付与できること。
- ・個人情報、データベースに暗号化して格納できること。

(7) 売上管理システム

- ・キーボード操作にて事務所売上の登録が行えること。
- ・券種情報を大区分、小区分、券種分類に分けた券種管理が行えること。
- ・日次、月次、年次、任意の指定期間のそれぞれで営業報、券種別報、利用提携先別報の帳票を出力出来ること。
- ・売上帳票の情報は、罫線等で体裁を整えたフォーマットの帳票でプリントアウト可能であること。
- ・売上帳票の情報は、CSV データでも出力可能であること。
- ・自動券売機の売上データと窓口発券精算 POS システムの売上データを統合出力できること。

(8) オンラインチケット販売システム

- ・自社サイト（受託者の提供するオンラインチケット販売サイト）を利用したチケットの販売が行えること。
- ・他社サイトでのチケット販売が可能なように、標準化された API を有し、複数の外部インターネット販売チャンネルと接続が可能であり、接続は事前に登録したオンラインチケット販売サイトのみ接続可能な制御ができること。
- ・他社サイト既に接続されている（又は本業務完了までに接続済みである）海外 OTA を含むこと。
- ・自社サイトと他社サイト一括で在庫管理ができること。
- ・前売り券及び当日券の日時指定券が販売可能なこと。
- ・チケット代金の支払いはクレジットカード決済が可能なこと。

5. システム、機器の数量表

各システムを構成する上で必要な機器及び設置場所を以下に示す。

システム	機器	数量	設置場所
制御サーバー	制御サーバー (バックアップ端末含む)	1 式	広福門
窓口発券精算 POS システム	制御 PC	5 個	広福門
	タッチパネルモニター	5 個	
	サブモニター	4 個	
	チケット発券機	5 個	
	レシートプリンター	5 個	
	QR コードスキャナー	4 個	
	自動つり銭ドロアー	3 個	
	キャッシュレス決済端末	4 個	
	無停電電源装置	5 個	
自動券売機システム	自動券売機	2 式	広福門
ハンディエーゲート着券管理システム (兼 リアルタイム入場者数確認システム)	ハンディエーゲート	3 個	奉神門
		2 個	首里城正殿
	入場管理 PC (帳票作成ソフト含む)	1 個	奉神門
	入場者数確認モニター (他機器で表示できる場合は省略可)	1 個	管理センター
		1 個	広福門
団体予約システム	予約管理 PC	3 個	管理センター
		2 個	広福門
		1 個	奉神門
年間パスポートシステム	年間パスポートシステム	1 式	広福門
売上管理システム	売上管理 PC (帳票作成ソフト含む)	1 個	管理センター
		1 個	広福門
	帳票出力プリンター	1 個	管理センター
		1 個	広福門
	無停電電源装置	1 個	管理センター
		1 個	広福門
オンラインチケット販売システム		1 式	

※機器またはシステムを統合して運用できる場合、数量変更を提案することができる。

※システムを運用するために必要な機器がある場合、機器の追加を提案することができる。

※機器構成図（ネットワーク回線を含む）を提出すること。

※機器およびシステムの数量および設置場所は、協議の上最終決定するものとする。

6. 保守・運用業務等

(1) システム初回稼働の立会について

- ・稼働前日確認作業を実施すること。

・稼働日当日から2営業日以上、立会い及び・現場での教育・サポートを実施すること。

(2) 運用業務

- ・ソフトウェアは、定期的バージョンアップ対応等を行うこと。
- ・サポート専用電話番号を保持すること。
- ・各システムの日々のデータバックアップを実施し、30世代以上(30日)の管理を可能とすること。

(3) 保守業務

- ・保守対応に備え、専属サポート部署を設置していること。
- ・保守対応は365日行っていること。この時、各種大型機器以外(自動券売機など)については、代替リモートメンテナンスについては即時に実施が出来る構造を整えていること。
- ・機器(PC、プリンタなど)を翌日までに発送できる体制であること。
- ・各ソフトウェアが、施設の運営方針の変更に柔軟に対応できること。

(4) 障害時の対応について

- ・システムハードウェア障害発生時には、代替機貸出が可能なこと。
- ・操作方法やトラブル等システム問い合わせ、ソフトウェア障害発生時には可能な限り年中無休で対応が可能なこと。
- ・緊急かつ重大なトラブルが発生した場合は、土日祝日にかかわらず出向保守対応が可能であること。

(5) 操作マニュアル等

システム設定マニュアル、操作マニュアルを準備の上、提出すること。

(6) ネット回線について

システム運用に必要なネット回線については本業務に含めないこと。

※首里城公園で保持する業務ネット回線を活用予定しており、別途必要となる場合は協議の上確定する。

(7) 保守・運用、サービス利用に関する契約について

本システムを運用にあたる契約については本業務に含めず、別途公園者と契約を行うこと。

ただし、本業務期間中に試験運用等で、保守・運用、サービス利用に関する費用が発生する場合は本業務に含めること。

7.成果品

受託事業者が提出すべき成果物等は表のとおりとする。

表 成果物等一覧

① 時間制チケット販売システム一式	1 式
② システム設定マニュアル、操作マニュアル	1 式
③ 業務報告書	1 式
④ その他発注者が業務に関するものとして指示したもの	1 式

8.再委託について

上記業務の一部については再委託を可能とするが、業務を実施する10日前までに再委託承認申請書を県に提出するとともに、事前に書面による県の承認を受けるものとする。ただし、以下の簡易かつ容易な業務を第三者に委託し、又は請け負わせるときはこの限りでない。

○資料の収集・整理

○複写・印刷・製本

○原稿・データの入力及び集計

9.その他

本特記仕様書に記載されていない事項及び仕様書等に疑義が生じた場合は、その都度協議し、調査職員の指示を受けなければならない。

別紙 1

券種（現行システム参考）

	時間制入場の有無	料金区分	券種	区分	料金
1	時間制入場券	一般料金	一般券	大人	4 0 0 円
2				中人	3 0 0 円
3				小人	1 6 0 円
4		団体料金	団体券	大人	3 2 0 円
5				中人	2 4 0 円
6				小人	1 6 0 円
7			沖縄県民 割引券	大人	3 2 0 円
8				中人	2 4 0 円
9				小人	1 6 0 円
1 0			モノレール 割引券	大人	3 2 0 円
1 1				中人	2 4 0 円
1 2				小人	1 6 0 円
1 3			友の会 割引券	大人	3 2 0 円
1 4				中人	2 4 0 円
1 5				小人	1 6 0 円
1 6			イベント 割引券	大人	3 2 0 円
1 7				中人	2 4 0 円
1 8				小人	1 6 0 円
1 9	入場券	一般料金	一般券	大人	4 0 0 円
2 0				中人	3 0 0 円
2 1				小人	1 6 0 円
2 2		団体料金	団体券	大人	3 2 0 円
2 3				中人	2 4 0 円
2 4				小人	1 6 0 円
2 5			沖縄県民 割引券	大人	3 2 0 円
2 6				中人	2 4 0 円
2 7				小人	1 6 0 円
2 8			モノレール 割引券	大人	3 2 0 円
2 9				中人	2 4 0 円
3 0				小人	1 6 0 円
3 1			友の会 割引券	大人	3 2 0 円
3 2				中人	2 4 0 円
3 3				小人	1 6 0 円
3 4			イベント 割引券	大人	3 2 0 円
3 5				中人	2 4 0 円
3 6				小人	1 6 0 円

37	年間パスポート	年間パスポート 料金	年間パスポート	大人	800円
38				中人	600円
39				小人	320円
40			年間パスポート 県民割引	大人	800円
41				中人	600円
42				小人	320円
43	時間制入場券	無料	身体障害者	区分なし	0円
44			付添人		0円
45			沖縄県民 70歳以上		0円
46			引率		0円
47			業務 (下見・研 修)		0円
48			オンライン チケット引 換券		0円
49	入場券	無料	身体障害者	区分なし	0円
50			付添人		0円
51			沖縄県民 70歳以上		0円
52			引率		0円
53			業務 (下見・研 修)		0円
54			オンライン チケット引 換券		0円
55	年間パスポート再発行 (※会計別)	年間パスポート 再発行料金	年間パスポート 再発行	区分なし	200円

別紙 2

キャッシュレス決済ブランド一覧

種類	ブランド
クレジットカード (タッチ決済を含む)	JCB
	VISA
	Master Card
	AMERICAN EXPRESS
	DISCOVER
	Diners Club
	銀聯
電子マネー	WAON
	交通系電子マネー
	楽天 Edy
	iD
	QUICPay
	nanaco
コード決済	PayPay
	auPAY
	Alipay または WeChatPay

※導入するキャッシュレス決済ブランドは甲乙の協議の上、最終決定を行う。